

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月31日配布開始

事業所名: 児童発達・放課後等デイサービス たんぽぽ

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		運営基準は満たしていますが、動きの中で狭いと感じることもある。
	2 職員配置数は適切であるか	○		職員の欠勤が重なった場合の対応は課題であるが、1人1人に声かけし関わるようにしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		絵カードをつかったりホワイトボードで用いて理解しやすいよう構造化を行っている。今後は、絵カードを利用し、おもちゃのお片付けがしやすいように工夫していき、自発的且つ安心して活動ができるようにも視覚ツールや環境整備は充実させていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々の清掃、消毒を丁寧に行っている。窓面も多く、明るく開放的な雰囲気である。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		ミーティングを行い、支援内容について見直し等、改善を行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		定期的に3月中に報告を行っている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		3月に評価報告を行い、新年度に向けて今後、ホームページ等で公開できるように検討していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	検討事項として考えていきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		内部研修、外部研修参加への積極的な参加を促し、事業所内勉強会を行い、質の向上に努めている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		契約時にアセスメントを丁寧に行い、作成している。今後は密に保護者様と支援内容についてお話していく。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシート(意向を確認できるシート)を活用している。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		契約時にアセスメントを丁寧に計画の作成を行っている。今後は密に保護者様と、支援内容についてお話ししていく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		契約時にアセスメントを丁寧に計画の作成をしている。今後は密に保護者様と、支援内容についてお話ししていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当ごとに細かい内容を決めている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		利用児童に合わせて同じ活動が重ならないよう実施している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		好きな活動を中心にプログラムの組立てをしている。また、出来ることをのばしていくことの視点を大切に計画作成を行っている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		シフトの状況によりすぐに相談が出来ない事もあるが、毎日ミーティングを行い、できない時は引き継ぎノート等で伝達している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		シフトの状況によりすぐに相談が出来ない事もあるが、できない時は引き継ぎノート等で伝達している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回の支援に関して記録をしている。こちらに基づいて評価・改善をし、次の計画作成やケース会議時、移行支援に活かしていく。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○	年2回のモニタリングを基本とする。状況によっては、早期のモニタリングも必要であると感じている。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		児童発達管理席が参画してる。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要な時は関連機関等の方と、電話や面談を行い情報共有している。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	現時点での利用の方は在籍されていないが、職員間での法令等について学びを深めていきたい。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		機会自体は少ないものの、今後は、積極的なアプローチをおこなっていききたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		引継ぎシートを作成し、保護者様を通じて学校の先生にお渡しいただいた。必要な情報共有は今後もしていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		併行利用児の方に関しては連携をしている。必要性に応じてその都度連携をしていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今後、法人として地域の支援での検討をしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	前向きに検討していく課題と捉えている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご本人の様子は、送迎時の引継ぎや連絡帳等を用いて情報共有を行っている。伝え切れない時は電話にて、再度お伝えをしている。また家庭での気になるところも連絡帳を通じて伝えていただいている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	地域での課題として発信していきたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書を用いて詳細説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインの読み合わせはできているが、内容を把握しやすいように別紙等、書面で取り入れている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時行っているつもりだが、希望があれば面談の機会を増やしていけるよう検討していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	ご家庭からの要望もあり、今後は意見交換等が行える場を整えていきたい。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		担当毎に職員配置をしている。第三者委員会の設置も整っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		行事予定の配布やSNS掲載の他に、事業所の様子や活動状況を保護者様・地域に積極的に発信していきたい。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員に周知している。鍵付きの書庫に入れて書類を保管するよう努めている。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードをお見せして内容を伝えたり、マカトサインの絵を使うことで伝達方法の共有をしている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域での公益活動として、ハロウィン開催を行った。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	職員がいつでも閲覧できるよう、事業所での管理しているが、詳細内容の周知を徹底していく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		防災訓練を行っているが、保護者様に周知ができていない。その他の訓練も今後取り入れ検討していきたい。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		支援に入る前に発達記録(既往歴)等を確認している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現時点で食事アレルギーの方はおられないが、今後アレルギーをお持ちの方がご利用になられたら、保護者様に詳細を伺い、医師とお話をする機会を設ける。(調理設備がないこともあり、昼食はお弁当持参。火曜日～金曜日) 見学時にその旨を伝え、了承いただいている。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの記入により職員間で共有を図りこれまで以上にミーティングを行い意識していきたい。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に内部(法人本部・たんぽぽ内)外部共に研修の機会があり、たんぽぽ会議等にて虐待防止に関する適切な対応が話し合っている。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	現時点で身体拘束の必要性がある方はいないが、必要になった場合の配慮をおこなっていききたい。	